

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約1億円
		急傾斜地崩壊対策事業<山本(2)地区>	城崎郡 日高町 山本		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
城崎郡 日高町 山本				H13年度	H14年度
事業目的			事業内容		
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命を保護する。			急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 280m H = 3m		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家17戸、町道がある。 斜面裾において、表土崩壊が発生するなど、斜面は不安定な状況である。 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> 山間部の緑の斜面は、地域の豊かな景観を構成するもので保全効果は高い 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> 人家裏の斜面裾には、過去の崩壊跡が見られるなど、今後の崩壊に対する、住民の不安は大きく要望が強い。 			
(2)有効性・効率性 有効性 効率性		<ul style="list-style-type: none"> 保全対象は人家17戸と多く、県道もあり事業効果が高い。 事業実施に向け、要望書が提出されている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、擁壁を着色しツタ等による緑化を検討する。 山脚部を補強することにより、良好な緑の斜面を保全できる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家17戸、県道があり事業効果が高い。 斜面裾部で、表土風化による崩壊が発生しており、更なる拡大の可能性が高いため、早急な防災対策が必要である。 要望書も提出されており、事業執行体制は整っている。 			
評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		